

プロジェクト名	ドイツ人旅行者のための観光案内：西条編（情報紙形式）
タイプとレベル	「ライティングと文法」 A2
期間	準備期間として毎回の授業の後半 30 分を 4 回程度
対象者	週 2 回 1 年間ドイツ語を学習する大学 1 年生（後期の後半に実施）
計画案 <small>（課題、目的、学習対象、 利用可能なツール、技術的 な前提、進行プラン例）</small>	<p>課題 : 2~3 人のグループで、漫画コマ割り作成用のアプリ等を利用し、1 ヶ月後を目処に、地元西条に短期間滞在するドイツ人のための A4 にして 2~4 ページほどのカラーの観光案内ガイドを作り、配布・公開する。</p> <p>目的 : 1) 日本語で自ら調べて知った新たな知識を、適切な画像とともに、簡潔なドイツ語にまとめ、標題を付ける (A2 レベルの writing)、2) 読み手がドイツ人であることに配慮し、日本人とドイツ人の前提知識の違いを意識した情報伝達を考える。3) 自分達の住んでいる町を外からの視点で見直す。</p> <p>利用可能なツール :</p> <p>学生：日本語圏の自治体や各種観光情報のサイト、ドイツ語圏の同種のサイト、Glosbe・Reverso Dictionary・Wadoku などのオンライン辞書各種、漫画コマ割り作成用のアプリ Strip Designer、Word、QR コード無料作成用ページなど。</p> <p>技術的な前提 特にないが、プロジェクト説明用の PowerPoint プレゼンテーションのできる環境は、あれば望ましい。</p> <p>プロジェクト進行プラン</p> <p>① 準備：通常の授業を通して休暇旅行や交通手段に関するやり取りを含むテーマを扱い、関連する動詞を学習しておく。広島観光案内や西条の駅前の観光案内ちらし等があれば、教員も自ら集めるとともに、参加者にもあらかじめ集めるよう指示を出す。</p> <p>② 第 1 回：2~3 人のグループを作る。旅行ガイドの読み手（年齢、滞在期間、季節、滞在目的：ホームステイの高校生、酒造りに興味のあるドイツ人、家族連れの旅行者、熟年夫婦等）を想定し、それに合わせた旅行・滞在プランのテーマを考え、観光案内ガイドにその特徴を示す名前を付ける。例：「西条グルメガイドトップテン (TOP 10: Die besten Gourmet-Restaurants in Saijo)」、「酒飲みのための観光案内 (Ein Reiseführer für Sakeliebhaber)」、「意外と知らない西条の穴場スポット：自然編 (Wenig bekannte Ausflugsziele in Saijo: Naturattraktionen)」等。授業時間内に決まらなければ、お互いに連絡を取り、次回までに決める。</p>

② 第2回：各グループに分かれ、自分のたちの決めたテーマを基に、西条の観光に関連して取り上げるべき個々のトピックについて調べる。なお、個々のトピックを検討している中で別のアイデアが出てきた場合などは、全体テーマを変えることも可。以下は、トピックの一例。

Sake-Brauereien-Straße (酒蔵通り)、Universität Hiroshima (広島大学)、Kunst- und Kulturhalle Kurara (コンサートホールくらら)、Buddhistische Tempel und Shintō-Schreine in Higashi-Hiroshima (東広島市の神社仏閣)、Historische Stadtviertel in Shiraichi (白市の旧市街)、Mitsujo-Hügelgräber (ミツ城古墳)、Sengoku-Daimyō (Kriegsfürst) Mōri Motonari (戦国大名 毛利元就)、Azumako-Wasserfall (吾妻子の滝)、Lila Glyzinien Spalieran um die Minaga-Wasserquelle (三永水源地の藤棚)、Miyama-Schlucht (深山峡) Ikoi-no-Mori Park (憩いの森公園) Kagamiyama-Park (鏡山公園) Higashi-Hiroshima-Sportpark (東広島運動公園)、Kurose-Talsperre (黒瀬ダム)、Taishakukyo-Schlucht (帝釈峡)、Erlebnisorientierter Tourismus: Äpfel selbst pflücken, Buchweizennudeln herstellen (体験観光：りんご園、そば打ち)、Städtisches Museum Higashi-Hiroshima (東広島市立博物館)、Städtische Bibliothek Higashi-Hiroshima (東広島市立図書館)、Stadtrat Higashi-Hiroshima für Förderung Internationalen Austauschs (東広島市国際化推進協議会)、Living Information (外国人のための生活情報) <http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/kurashi/sumai/4/index.html>、der öffentliche Verkehr in Higashi-Hiroshima (東広島市の公共交通) <http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/soshiki/seisakukikaku/3/1/18982.html>

③ 第2回～第3回：全体テーマの下に、個々のトピックを選び、トピックごとに数行の文章と短い標題を考え、手書き画像あるいは写真をもとに漫画作成用のアプリ **Strip Designer** を使って、コマ割りしていく。

④ 第3回：この回の最後の方で、隣のグループとの交流時間を10分ほど設け、そこで自分達のアイデアをお互いに説明し、他のグループからの質問やアドバイスをもらい、適宜改善を図る。

⑤ 第4回：印刷版を完成するとともにPDF化する。また、掲載する個々の情報のURLとこのガイド自体のURLに簡単にアクセスできるよう、WWW上のQRコード無料作成用ページを使って、すべての記事の末尾と作成中のガイドの冒頭にアクセス用PRコードを貼り付けるとともに、末尾にfeedback用のURLやメールアドレスのQRコードを付ける。(なお、feedbackの手段として、このプロジェクト専用のFacebook等を作っても良いが、プライベートな領域とプロジェクトという公的な領域が重なることについては、個人が特定されるというセキュリティ上の問題だけでなく、公私の領域の区別に関わる心理的な問題もあるので、参加者全員の合意が無い限りは、慎重を要する。教員が自らの責任で作ったすべてのグループ共通のfeedback用ドレスを挙げるなどに留めておく方が無難である。) また、紹介した場所に関する既存の(観

	<p>光) ページ等がある場合にはそれにもリンクを貼る。</p> <p>⑥ 一定の水準に達しているガイドは、実際に大学の国際交流ラウンジ等に置いてもらうとともに、すべてのグループのPDF ファイルをまとめたちらしを作り、学内に掲示する。</p> <p>⑦ 参加者全員に投票の形で、一番良いと思われる作品を選んでもらう。本プロジェクトに参加した学生には、評価アンケートも書いてもらう。</p>
<p>ポイント</p>	<p>1) 内容面では、誰もが知っていること（だけ）ではなく、これを読んだことで新たに何かを伝えられるような新情報についてきちんと調べて書くことを強調する。<u>読み手の存在を意識化させることが重要</u>。地元や特定の都市のディープな旅行者向け案内記事を企画して書くことを目標とすると良い。</p> <p>2) 最初に、前年度の作品をモデルとして提示することができればいい。</p> <p>3) 同じ形式で広島市や広島県内のローカルな地域（竹原、呉、福山）を対象にした同種のプロジェクトも可能。</p>